

## 再意見提出フォーマット

再意見提出者	神奈川県鎌倉市
--------	---------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015年ごろや2020年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	

複数のサービスやシステムについてご回答される場合は、それぞれ別々のフォーマットに記入してください（できるだけイメージ図等を加えてください。）。

## 意見募集において寄せられた意見に対する意見

No.	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容
40 47 58	クアルコムジャパン株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社 ソフトバンクテレコム株式会社 ソフトバンク BB 株式会社 日本エリクソン株式会社 ノキアシーメンスネットワーク株式会社 ノキアジャパン株式会社 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社	<p>・本市では、災害発生時の通信手段として、固定電話、携帯電話、衛星携帯電話、電子メール等を活用してきたが、災害の状況によっては電話回線の寸断や携帯基地局の倒壊等により通信手段が確保できなくなる恐れがあった。特に、避難所となる小中学校には体育館に特設公衆電話の回線を配置してはいるものの、いざというときの通信体制は十分とはいえないものであったため、平成20年にMCA無線を導入し、運用している。この結果、MCA無線の持つ一斉指令機能を活かすなどして、避難所への情報伝達が迅速化されている。MCA無線は過去の大規模災害時でも安定した通信が確保できた実績があり、今後も災害時の通信手段の一つとして、高い信頼を寄せている。</p> <p>・本市は、中長期的な視点でMCA無線の導入・運用を行っているため、今後15年程度は利用することを想定しており、万一周波数帯が移行された場合、十分な準備期間の確保と無線機の交換のための財源確保が大きな課題となると考えられる。</p>